

農 地 転 用 事 業 計 画 書

令和元年5月8日

安来市農業委員会会長 様

転用事業者

住 所 安来市〇〇町〇〇 333番地

氏 名 伯 太 三 郎 ㊞

令和元年5月8日付をもって申請します農地法第4条の規程による許可申請について、下記の転用計画事業計画書により転用事業を推進いたします。

1. 転用目的及び用途の詳細

農作業場及び農機具庫の建設。

農作業場は、出荷物の保管及び調整作業をする。農機具庫は、耕運機、田植機、コンバイン、乾燥機を保管する。

2. 申請地を選定した理由

本土地は、自宅から200m程のところにある市道〇〇線沿いの周辺を農地以外の土地に囲まれた土地であり、農機具の保管管理の上からも自己所有地の中で最適地であると判断しました。また、本土地は、大型機械等での作業効率が悪い土地で農地として管理しにくい土地でもあります。

3. 事業内容と転用計画面積の必要性（用途、区分の平面図は別添）

転用事業者は、田200a、畑50aを保有する農家で家族数は、全員で5名。

600㎡余りの自宅敷地は、母屋と離れと車庫（車4台）があり、農機具や農業用資材を置くスペースがなく、自己所有農地や親戚からの借地に野ざらしで置いている状況ですので、農作業及び、その管理にとっても不便を感じています。

そこで、長年の懸案を解消すべく本土地へ農作業場・農機具庫（132㎡）の建設と農業用資材置場を作り農業経営の効率化を図るものです。

転用計画面積については、建物部分、農業用資材置場部分、露天作業場部分（別紙利用計画図）等を合わせると最低450㎡が必要となります。

4. 用排水の処理方法

雨水については、既設水路に流します。汚水については、発生しませんが、必要に応じ適切に処理します。

5. 過去5カ年間の転用と使用状況

所 在	面 積	転用目的	許可年月日	使用状況
	㎡			

6. 土地造成に伴う被害防除施設の概要（平面図・断面図は別添）

周囲はL字コンクリートよう壁で土砂が流出しないようにして約30cm埋め立てて造成するので被害は生じない。

仮に、被害が生じた場合は、関係者と十分に協議のうえ万全の措置を講じる。

※転用目的が資材置場の場合には、「3. 事業内容と転用計画面積の必要性」欄に①既存資材置場の有無、②既存資材置場を有する場合には、箇所数、面積を併せて記載すること。

農 地 転 用 事 業 計 画 書

令和元年 5 月 8 日

安来市農業委員会会長 様

転用事業者

住 所 安来市〇〇町〇〇 1 1 1 番地

氏 名 安 来 一 郎 ㊞

令和元年 5 月 8 日付をもって申請します農地法第 5 条の規程による許可申請について、下記の転用計画事業計画書により転用事業を推進いたします。

1. 転用目的及び用途の詳細

個人住宅の建設。

木造二階建居宅一棟、車庫（車 4 台）、庭に使用。

2. 申請地を選定した理由

申請人の実家は、同じ町内にあるが、6 0 0 m²余りの自宅敷地は、母屋と離れと車庫（車 4 台）があり、増改築をして同居するだけの広さがないため、実家に近いところで土地を探していたが、農地以外の土地では見つからなかった。そこで、他を探したところ、市道〇〇線沿いで集落に接続する面積も適当な本土地が見つかった。本土地は、集落地内の農作業効率の悪い狭い農地でもあったため、地権者と折り合いが着いたので選定した。

3. 事業内容と転用計画面積の必要性（用途、区分の平面図は別添）

申請人の家族数は、夫婦と子供 2 人の 4 人家族で車を 4 台所有している。

転用計画は、木造二階建居宅一棟（1 3 2 m²）、車庫（車 4 台）、庭（別紙利用計画図、平面立面図）であり、最低限申請面積の 4 5 0 m²の面積が必要となる。

4. 用排水の処理方法

汚水については、集落排水に排水し、雨水については、申請地南側の既設水路に排水する。

5. 過去 5 カ年間の転用と使用状況

所 在	面 積	転用目的	許可年月日	使用状況
	m ²			

6. 土地造成に伴う被害防除施設の概要（平面図・断面図は別添）

周囲は L 字コンクリートよう壁で土砂が流出しないように道路高 1 m で造成をする。ただし、申請地より地面が高いところについては、L 字コンクリートよう壁はしない。

※転用目的が資材置場の場合には、「3. 事業内容と転用計画面積の必要性」欄に①既存資材置場の有無、②既存資材置場を有する場合には、箇所数、面積を併せて記載すること。